

# 厚生連だより

平成24年1月1日

## 第46号

発行  
 上都賀厚生農業協同組合連合会  
 上都賀総合病院  
 老人保健施設かみつが

編集  
 上都賀総合病院年報等編集委員会  
 〒322-8550 鹿沼市下田町1-1033  
 TEL 0289-64-2161

# かみつが



## 第二回公開市民講座

### 新春のご挨拶

上都賀厚生農業協同組合連合会  
 代表理事会長 安生 衛



平成二十四年の新春を迎え心よりお喜び申し上げます。  
 本会の上都賀総合病院並びに老人保健施設かみつがの事業運営にあたりまして、特段のご指導ご支援を賜わりまして厚く感謝申し上げます。

昨年三月十一日に発生した、東日本大震災は大津波・原子力発電所の事故など日本経済に重大な影響をもたらす大災害となり、未曾有の災害状況となっております。いかなる状況下においても我々厚生連は、健康で安心して暮らせる農山村社会を目指して、日ごろより保健・医療・介護・福祉事業に取り組んでいます。

昨年三月にスタートした新病院建設も、関係各位のお蔭をもちまして精神科病棟解体から地下部分の掘削まで、年末に終了致しました。  
 今後は更にJAグループとの連携強化の上、農協組合員・地域住民に、地域の公的機関病院・地域の主たる老健施設として、積極的に事業展開を致す所存であります。

今後とも皆様方の尚一層のご指導ご支援をお願い申し上げます。結びに、本年が皆様におかれまして最良の年でありますよう、ご祈念申し上げます。新春のご挨拶と致します。

### 新年を迎えて

上都賀総合病院  
 病院長 十川 康弘



みなさまに謹んで新年のごあいさつ申し上げます。昨年は七月十二日に起工式が執り行われ、新病院建築開始の年でした。平成二十五年二月には東棟が完成、外来の大部分と病棟の半分が移転オープンされます。本年は四月より新たに歯科・口腔外科を開設します。目的は入院している方、特になんなど重い病状の方の口の中の手当てと地域歯科クリニックで扱えないような手術などの応需です。また整形外科は諸般の事情により本年四月より千葉大学から獨協医大の医師派遣となり医師が交代いたします。懸案でありました耳鼻咽喉科においては昨年八月より待望の常勤医師が赴任されました。豊富な経験と実績で信頼の高い医師ですのでどうぞご来院ください。産婦人科は医師不足の影響で本年四月より当院ではお産が扱えないことになりました。ご不便をおかけいたしますが早期の再開に努力いたしますのでご理解のほどお願いいたします。

病院は街の一部であり、その未来は同時に地域社会の未来でもあります。今全国で直面している医師不足、看護師不足などによる地域医療崩壊の問題は当院も決して例外ではありません。地域の方々に常に病院と医療に関心を持っていただくことが私ども病院職員への大きな励みになります。どうぞ皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

# 上都賀総合病院の 新たな歩み

副院長 衛藤進吉



## 当院の原点

当院の創立は昭和十年にさかのぼります。設立の背景には当時の厳しい社会情勢が関係していました。大正・昭和初期の農山村では、医師や医療機関の不足が深刻化し、無医村が急増していました。昭和四年にアメリカに端を發した世界恐慌が重なり、農山村の人々は必要時にも医療を受けられない状況でした。その窮状を打開するため、地域住民みずから立ち上がり、さまざまな困難を乗り越えて、当院が鹿沼の地に設立されました。これは栃木県における医療組合病院の先駆けでした。初代吉田院長は、開院式の挨拶で、当院のすぐれた施設を開業医の先生方に開放し、一緒になって地域住民の健康と医療に尽くそうではないかと呼びかけ、協働してこの地域の医療の展開を訴えました。当時、県内に県立病院に一基しかなかったレントゲン装置を、それも当時としては最高

級の装置を設置したのです。経済的に厳しい中でも、当時の関係者の医療への意気込みが伝わってきます。農山村であらうと住民に最高の医療の提供をめざしたのでです。これがこそが当院の原点といえます。

## 変革の時が来た

戦前・戦後の紆余曲折を経て、当院は上都賀地域の公的総合病院として地域住民の皆様の健康と医療に貢献してきました。しかし、近年の経済情勢や医療制度を背景に医師や看護師不足による医療崩壊時代に直面し、当院も厳しい状況に立たされてきました。老朽化し、迷路のように広がった病院施設の解消のため病院建て替え計画が何度か浮上してきましたが、様々な事情で実行に至りませんでした。具体的な動きが平成二十二年に起こりました。まずは精神科病床を削減し仮病棟へ移ることでした。平成二十三年三月に精神科病棟は仮病棟へ移転し、空っぽになった第三病棟の取り壊しが始まりました。いよいよ変革の時が来たのです。七月十二日に新病院建設の起工式が執り行われました。佐藤鹿沼市長はじめ関係者約八十名のご臨席のもと、念願の新しい病院建築が開始されました。より快適に、より高度医療にふさわしい新病院は予定では平成二十七年三月に完成します。



## 新たな一歩

新たな器に新しい医療の心を注ぎ込むために、平成二十三年四月から院内で経営改善プロジェクトチームが活動を開始しています。毎月、定期的に各部署の責任者達が病院改革に取り組んできました。利用者の皆様により満足できる病院を目指して、各部署毎に病院機能を見直し、具体的な改善策を検討してきました。

その成果の一端を紹介いたします。まず、患者さんの目線に立って、当院を受診された患者さんが安心して受診できるように外来の一階ホール「メディカルサポート」の機能を充実させていく施策が実行されました。次いで、「その日に結果が出る外来」に変革中です。体調が悪くなった患者さんが受診して、その日のうちに結果が出て、診断が早くつき、早期治療を行えば、回復も早くなり、ストレスも少なくなり、より安心です。また、検査のために何度も病院へ受診する必要がなくなり、さらに「お薬手帳」を積極的に活用するようになりました。当院受診の患者さんは、様々な身体疾患を合併している方も多く、多くの種類の薬を飲まれています。薬物管理を一元的に行い、よりよい治療に役立てています。

## 地域のセイフティ・ネットの一翼として

当院は、医療を通じて「地域社会への貢献」を基本理念に掲げています。地域のホームドクターと病院担当医の医療連携を大切に、当院のCT、MRI、RIといった高度な検査機器を開放し、共に上都賀地域の人々の健康と医療を支えていくことが当院の使命と考えられます。まさに、初代吉田院長の理念と重なります。また、当院は災害拠点病院としての役割も持っています。当院の災害時医療支援チーム(DMAT)は東日本大震災の際にも被災地に出動しました。今後も、地域で発生した大きな災害時に、迅速に必要な緊急医療援助を提供するための準備をしています。当院は、設立当初からへき地医療に取り組んできました。現在もへき地医療拠点病院としての役割を継承しています。当院の属する県西保健医療圏は県北に次いで県内で二番目に広い面積を有していますが、人口密度は県内で最も低く、栃木県平均の三分の一しかありません。このような人口過疎地域で、さらに高齢化や過疎化が進み、社会的孤立や健康障害が深刻な問題となってきました。高齢者のうつ病や自殺問題、認知症問題など、避けては通れない健康問題があります。当院としても行政や介護福祉機関と連携して、しっかり取り組まなければなりません。地域のお年寄りの安心と健康に貢献することも当院の原点につながります。

## 第二回上都賀総合病院 公開市民講座を開催して

公開市民講座実行委員会  
委員長 阿部 稔



十月二十二日に鹿沼市民情報センターで第二回上都賀総合病院公開市民講座を開催しました。今回は「認知症」をテーマに、家族の立場からぐんま若年認知症家族会副会長の 大澤幸一先生と、疾患について衛藤進吉副院長に講演をしていただきました。参加者は、市内外より百五十名の方の参加があり満席



状態でした。アンケートの結果で、認知症に興味のある方が九割を超えており、公開講座に適していたと思われ、フォーラムの時間は、ちょうど良かったが八割を占め、短かった。長かったは一割弱でした。講演内容も、大澤先生においては、九十四%の参加者が理解できたと答えており、「とても勉強になった」、「感動した」という意見や、「家族の人にも参加させたいので、今後も開いてほしい」等の意見があり、内容的にも良かったと思います。今後も地域の皆様に、少しでも健康にお役にたつ企画を考えていきたいと思えます。最後に、開催するにあたりご協力いただきました、関係諸機関、各企業の方々、病院関係者、実行委員のみなさんに感謝いたします。



## 緩和ケアチームの紹介



緩和ケアの定義として世界保健機関(WHO)では、「緩和ケアとは、生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族に対して、疾患の早期より痛み、身体的問題、心理社会的問題、スピリチュアルな(霊的な、魂の)問題に関してきちんとした評価をおこない、それが障害とならないように予防したり対処したりすることで、クオリティ・オブ・ライフ(生活の質、生命の質)を改善するためのアプローチである。」といわれています。

当院では、地域がん診療連携拠点病院として、緩和ケア外来(毎週水曜日十四時から完全予約制)、緩和ケア病床(四床)、がん相談室があります。また、医師(内科医、外科医、精神科医)、看護師、薬剤師、管理栄養士、作業療法士、ソーシャルワーカー、臨床心理士で構成された緩和ケアチームが悪性腫瘍(主にがん)の患者さんとそのご家族に対して、人としての尊厳(その人らしさ)を尊重し、安全で、安心した療養生活が送れるよう活動しています。緩和ケアチームの主な活動

としては、毎週月曜日、緩和ケアチームラウンドを行い、主治医や病棟スタッフと共に、がん患者さんとそのご家族の苦痛に関する情報の交換や共有、その評価と対策等を検討しております。また、在宅療養を希望されるがん患者さんとそのご家族に対しては、退院支援チームと協働し、在宅療養のためのサービス調整等の支援を行っております。その他、今年度のホスピス緩和ケア週間(十月二日・十月八日)から、外来がん相談室入口と緩和ケア病床のある五病棟三階デイルームに「緩和ケア図書コーナー」を設置し、がんや緩和ケアに関する本や癒しの絵本等の貸出や、フリーパンフレットの提供などを開始しました。さらに、十一月より、入院中のがん患者さんを対象とした「がんリハビリ」も始まりましたので、今後とも、がんの早期から、よりよい緩和ケアが提供できるように、緩和ケアチーム活

動のさらなる充実に努めたいと考えております。

### 緩和ケアチームラウンドの様子



院内・敷地内は禁煙  
となっております。

### — 基本理念 —

#### — 地域社会への貢献 —

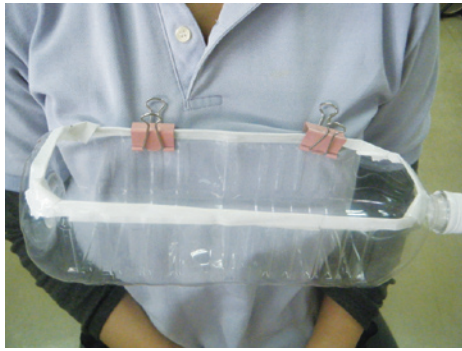
私たちは、地域住民の総合病院として保健・医療・福祉活動を介して、地域社会の発展に貢献します。

### — 基本方針 —

- 一、患者さんの立場を尊重し、倫理・精神面へ配慮します。
- 一、安全な医療を確保し、患者さんに信頼される医療を行います。
- 一、常に、医療の質の向上に努めます。
- 一、患者さんと、より良いパートナーシップを築きます。
- 一、地域の基幹病院として、地域社会や医療機関と連携し、住民の健康増進に努めます。

### — 患者さんの権利と責務 —

- 一、安全で適切な医療を公平に受ける権利
- 一、個人の人権が尊重され、プライバシーが保たれる権利
- 一、病気・検査・治療・見通しなどについて、説明を受ける権利
- 一、治療法の選択を尊重される権利
- 一、私たちと一緒に病気を治すことに協力していただくこと
- 一、患者さんの療養環境を守るため、病院の諸規則や社会的ルールを守っていただくこと

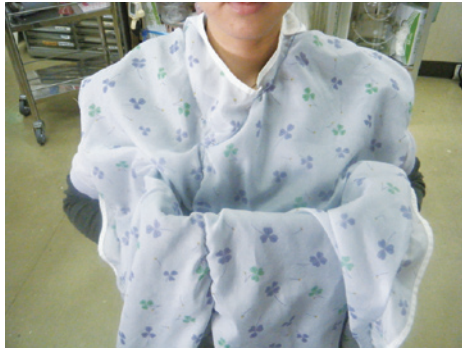


日本農業新聞に老人保健施設かみつがで考案した介護エプロンが掲載されました。

平成二十三年十一月開催の、日本農村医学会学術総会にて発表された演題が、十二月一日発行、日本農業新聞の一面の記事に掲載されました。

内容としては、『食べこぼしのある利用者を救う目的で、市販の介護用エプロンにタオルとペットボトルを活用し、試行錯誤のうえ、食べこぼしても服が汚れない介護用エプロンを考案しました。』

利用調査を行った結果、従来は衣服の汚れで、着替え回数が一日四回程でしたが、最大で一回に減りました。また、要介護者も食べこぼしを気にすることなく、一時間以上だった食事時間も三十分〜四十分程に短縮されました。食べこぼしても安心して、利用者



からの期待も高く、維持管理も簡単に出来る』となっております。

今後介護を必要とされる方々へ、最良のサービス提供を心がけていきたいと思っております。

**医師・看護師(保健師・助産師・准看護師)奨学生募集**

～ あなたの「学びたい」をサポートします ～

当院には、医学生・看護学生のみなさんの勉学を支えるための奨学金制度があります。

奨学金の返済については、卒後当院にて医師・看護師(貸与対象職種)として貸与期間に応じた期間を勤務していただいた場合、免除となります。

奨学金制度に興味・関心がある方は、随時ご相談に応じますので、下記までお気軽にお問合せ下さい。

〒322-8550 鹿沼市下田町1-1033

**かみつが厚生連 上都賀総合病院**

担当：総務課(2502)

TEL0289-64-2161 FAX0289-64-2468

E-mail : soumu@kamituga-hp.or.jp URL : http://www.kamituga-hp.or.jp

当院メディカルサポートセンターでは医療ソーシャルワーカー(社会福祉士・精神保健福祉士)が医療・福祉・介護に関するご相談をおうけしています。相談料はかかりませんのでお気軽にご相談下さい。

**編集後記**

組合員の皆様や地域の皆様は新年のお慶びを申しあげます。昨年は東日本大震災や福島原子力発電所事故の様々な影響のため大変な一年でした。その影響がすっかり払拭されたとは言えませんが、どんなに大変な状況にあろうとも、それでも、我々は前へ進んで行かなければなりません。当院は、新病院建設が始まり、病院改革の歩を踏み出しました。今年には辰年です。辰の字は「振るう」の意味があり、陽気が動き草木が伸長する状態を表しています。皆様の生活が様々な困難を乗り越え、より良いものになりますようお願いいたします。今年も組合員の皆様に役立つ紙面作りに広報委員一同努力したいと思っております。(衛藤)

**一般外来診療表**

診療科目	受付時間 <small>初診受付=AM 8:00から開始</small>	備考
内科	AM 7:30~AM11:00	
精神神経科	AM 7:30~AM11:30	初診はAM11:00までの受付
小児科	AM 7:30~AM11:30 PM 1:30~PM 4:00	土曜はAM11:00までの受付 月・火・木・金曜は午後も診察あり
外科	AM 7:30~AM11:30	土曜はAM11:00までの受付
整形外科	AM 7:30~AM10:00	
形成外科	AM 7:30~AM11:30 PM 2:00~PM 4:00	月・水・木曜、土曜は完全予約制 火・金曜
脳神経外科	AM 7:30~AM11:00	
皮膚科	AM 7:30~AM11:30	火・金曜はPM2:00~PM4:00も受付、土曜はAM11:00まで受付
泌尿器科	AM 7:30~AM11:00	初診・再初診・予約外は5名まで(AM9:30まで) 土曜休診
産婦人科	AM 7:30~AM11:00	
眼科	AM 7:30~AM11:00	金曜はPM1:30~PM4:00も受付
耳鼻咽喉科	AM 7:30~AM11:00	月曜午前は休診、第1・3・5火曜はAM10:30までの受付、月曜はPM1:30~PM4:00のみ受付
放射線科	AM 7:30~AM11:30	水曜のみ

**専門外来診療表**

診療内容	担当診療科	曜日	受付時間
リウマチ・膠原病外来(予約)	内科	月・火・木	PM 1:00~PM 4:00
糖尿病外来(予約)	〃	水・木・金	PM 1:00~PM 3:00
呼吸器外来(予約)	〃	水・木	PM 1:00~PM 3:00
肝臓外来(予約)	〃	水	PM 1:00~PM 3:00
内分泌外来	〃	木	AM 7:30~AM11:00
神経内科外来(予約)	〃	〃	PM 1:00~PM 3:00
血液外来(予約)	〃	金	PM 1:00~PM 3:00
緩和ケア外来(予約)	〃	水	PM 2:00~PM 4:00
禁煙外来(予約)	〃	木	PM 1:00~PM 3:00
アレルギー外来	小児科	火	PM 1:30~PM 4:00
新生児外来(1ヶ月児)	〃	水	PM 1:30~PM 3:00
予防接種外来	〃	月・木・金	PM 1:30~PM 4:00
呼吸器外科外来	外科	月	AM 7:30~AM11:30
乳腺・甲状腺外来(予約)	〃	火	PM 1:00~PM 3:30
ヘルニア外来	〃	水	AM 7:30~AM11:30
ヘルニア外来(予約)	〃	〃	PM 1:00~PM 3:30
肝・胆・膵臓外来	〃	木	AM 7:30~AM11:30
ストマ・大腸肛門外来(予約)	〃	〃	PM 1:00~PM 3:30
食道・胃疾患外来	〃	第1・3・5土	AM 7:30~AM11:00
リウマチ・関節外来(予約)	整形外科	月	PM 1:00~PM 3:00
器具外来(予約・器具作成)	〃	火 木	AM10:00~PM 0:00 PM 1:00~PM 3:00
てんかん外来(予約)	脳神経外科	第1木	PM 1:30~PM 3:30
両親学級	産婦人科	〃	詳細は外来にてご確認下さい。
助産師産後外来	〃	〃	詳細は外来にてご確認下さい。
補聴器外来(予約)	耳鼻咽喉科	第1・3・5金	PM 2:00~PM 4:00
特殊検査(予約)	〃	火	PM 2:00~PM 4:00
嚥下外来(予約)	〃	木	PM 2:00~PM 4:00

※診療上の都合により変更になる場合がありますので、必ずご確認の上ご来院下さい。